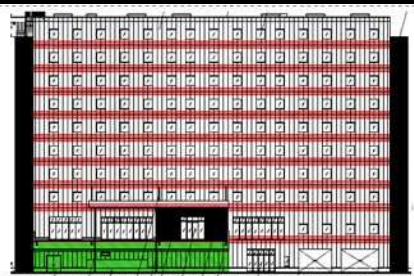
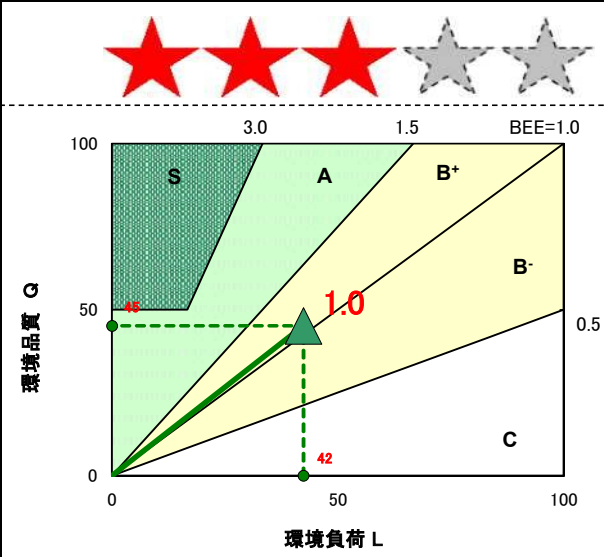


CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	〈仮称〉たびのホテル熊本大津	階数		
建設地	熊本県菊池郡大津町大字室字桜山	構造		
用途地域等	都計外(準都計外)	平均居住人員		
省エネ:地域区分	6地域	年間使用時間		
建物用途	ホテル,工場,	評価の段階		
竣工時期	2026年3月 予定	評価の実施日		
敷地面積	5,000 m ²	作成者		
建築面積	1,076 m ²	確認日	2024年8月27日	
延床面積	6,272 m ²	確認者	谷治 宏明	

2 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)



BEE = 1.0

■BEE(環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$

■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆

■ ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示)



排出率

81%

3 熊本県重点評価結果

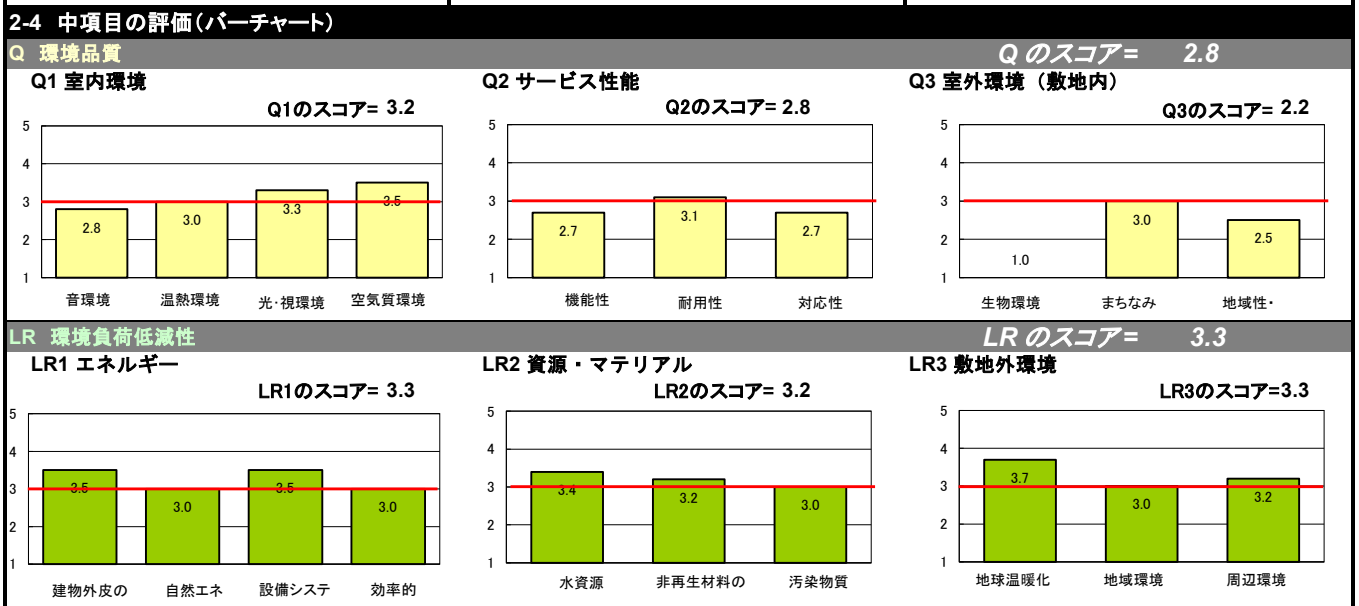
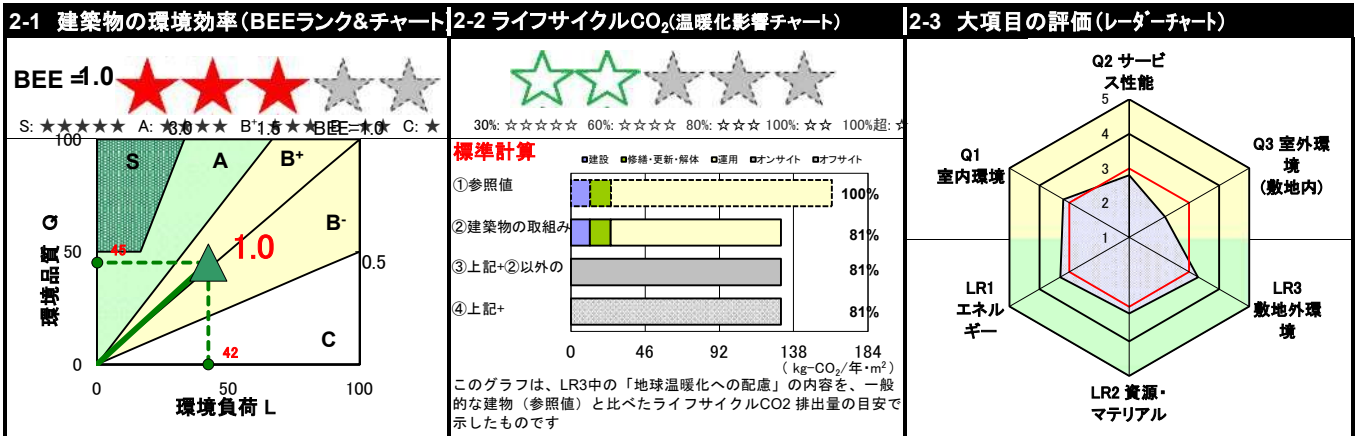
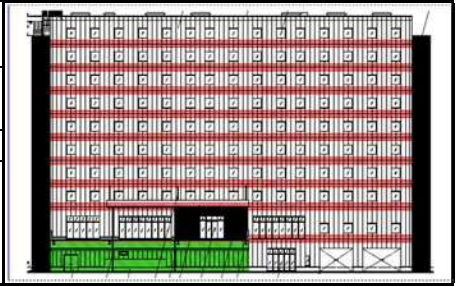
■ 重点事項総合評価

	評価点
	78

評価点		■ 熊本県重点評価基準	
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	82.9	判定値(評価点)	ランク表示
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	65.0	100点以上	
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	82.5	80点以上100点未満	
【重点事項4】 循環型社会の実現	77.4	60点以上80点未満	
		40点以上60点未満	
		40点未満	

※評価点は、100点以上が推奨です。

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)たびのホテル熊本大津	階数	地上10階、地下0階
建設地	熊本県菊池郡大津町大字字桜山	構造	S造
用途地域等	都計外(準都計外)	平均居住人員	213 人
省エネ・地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2026年3月 予定	評価の実施日	2024年8月27日
敷地面積	5,000 m ²	作成者	谷治 宏明
建築面積	1,076 m ²	確認日	2024年8月27日
延床面積	6,272 m ²	確認者	谷治 宏明



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい

スコアシート		実施設計段階						
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								2.8
Q1 室内環境					0.39		-	3.2
1 音環境				3.0	0.15	2.6	1.00	2.8
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音				3.0	0.40	3.0	0.40	
1		開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30	
2		界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30	
3		界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
4		界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音				3.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境				3.0	0.35	3.0	1.00	3.0
2.1 室温制御				3.0	0.50	3.0	0.50	
1		室温		3.0	0.38	3.0	0.57	
2		外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43	
3		ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境				3.3	0.25	3.3	1.00	3.3
3.1 昼光利用				4.2	0.30	4.2	0.30	
1		昼光率		5.0	0.60	5.0	0.60	
2		方位別開口		-	-	-	-	
3		昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策				3.0	0.30	3.0	0.30	
1		昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境				3.5	0.25	3.6	1.00	3.5
4.1 発生源対策				4.0	0.50	4.0	0.63	
1		化学汚染物質		F☆☆☆☆の建材を使用。	4.0	1.00	4.0	1.00
4.2 換気				3.0	0.30	3.0	0.38	
1		換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2		自然換気性能		-	-	3.0	0.33	
3		取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理				3.0	0.20	-	-	
1		CO ₂ の監視		-	-	-	-	
2		喫煙の制御		3.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	2.8
1 機能性				2.7	0.40	2.8	1.00	2.7
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60	
1		広さ・収納性		-	-	3.0	0.50	
2		高度情報通信設備対応		-	-	3.0	0.50	
3		バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.5	0.40	
1		広さ感・景観		客室天井高2.5m。	-	4.0	0.50	
2		リフレッシュスペース		-	-	-	-	
3		内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理				4.0	0.30	-	-	
1		維持管理に配慮した設計		維持管理しやすい内装・外装材を使用。	4.0	0.50	-	
2		維持管理用機能の確保		スタッフ控室、倉庫、ゴミ保管庫スペースを確保。	4.0	0.50	-	
2 耐用性・信頼性				3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-	
1		耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2		免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.6	0.30	-	-	
1		躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2		外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-	
3		主要内装仕上げ材の更新必要間隔		耐用年数20年以上の仕上げ材を使用。	5.0	0.10	-	
4		空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5		空調・給排水配管の更新必要間隔		塩ビライニング鋼管、硬質塩化ビニル管を使用。	5.0	0.20	-	
6		主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性				2.8	0.20	-	-	
1		空調・換気設備		1.0	0.20	-	-	
2		給排水・衛生設備		節水便器を使用。	4.0	0.20	-	
3		電気設備		3.0	0.20	-	-	
4		機械・配管支持方法		耐震クラスA。	4.0	0.20	-	
5		通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.0	0.30	2.4	1.00	2.7
3.1 空間のゆとり			-	-	1.8	0.50	
1 階高のゆとり			-	-	1.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			-	-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.31	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.3
1 建物外皮の熱負荷抑制		[BPI][BPI _m] = 0.93	3.5	0.18	-	-	3.5
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.77	3.5	0.51	-	-	3.5
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		自動水栓、節水便器を使用。	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.60	-	-	3.2
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		仕上材の下地に軽量鉄骨を使用。	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		CO2排出率:81%	3.7	0.33	-	-	3.7
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		駐車スペースを確保。	4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	0.33	-	-	
2 振動			3.0	0.33	-	-	
3 悪臭			3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			-	-	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		光害対策チェックリストは半分以上達成、広告物照明は不使用。	5.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	

建物名称 (仮称)たびのホテル熊本大津

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

熊本県重点評価結果				総合評価点		78
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				82.9	0.40	33.16
Q1-2.1.2	外皮性能	3.0	0.05			
Q1-3.1.3	屋光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.1	屋光制御	3.0	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	3.5	0.14			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	3.5	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	3.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	4.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				65	0.20	13.00
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				82.5	0.20	16.50
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				77.4	0.20	15.48
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.6	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	2.7	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数

■ 環境関連の配慮事項

(仮称)たびのホテル熊本大津

印刷:モノクロ
設定済み

・適宜、箇条書き等で記入してください。

・キーボード操作:改行の際は【Alt】キー&【Enter】キーで次の行に進みます。

計画上の配慮事項		※必ず、何らかのコメントを記入してください。
総合	CO2排出率を低減するために努力しています。	
Q1 室内環境	居室の環境に配慮してF☆☆☆☆建築材料を使用しています。	
Q2 サービス性能	建物の長寿命化に配慮して維持管理しやすい内装・外装を使用しています。	
Q3 室外環境 (敷地内)	特になし。	
LR1 エネルギー	建物の低炭素化に配慮して一次エネルギー消費率を達成しています。	
LR2 資源・マテリアル	エコの対策になる自動水栓と節水便器を使用しています。	
LR3 敷地外環境	周辺道路の渋滞緩和に配慮して駐車スペースを確保しています。	
その他	特になし。	